

障害者雇用を支援する熊本市東区
の一般社団法人アウトリーチプロジ
エクトは28日、八代市災害ボラン
ティアセンターに、災害ボランティア
向けの作業用Tシャツ250枚を贈
った。これまでに既に3回贈っており、
計1100枚になった。

同プロジェクトは7月の豪雨後、
企業から寄付金を募り、関連する障
害者就労支援事業所でTシャツを制
作。障害者の仕事にもつながってい
る。

この日は代表理事の宮下武さん
(54)らがセンターを訪れ、黄と赤の
Tシャツを寄贈。背中に「笑顔、感
謝、元気」の文字と寄付に協力した
6社の名前が入っており、「猛暑の
中で作業する人たちへの感謝を込め

熊本豪雨

2020

県内新たに2人感染

熊本市と県は30日、
新たに東区の20代男性
と、宇土市の70代の女
性会社員が新型コロナウイルス
ウィルスに感染したと
発表した。熊本市は複
数の感染者が確認され
た飲食店の利用状況が
把握できないとして、

熊本市が公表した2
店は、いずれも中央区
の繁華街にある「駄菓
子」の店舗である。

陽性と判明した男性の
妹。2人は同じ職場で
働いていた。県内での
感染者は計510人
(うち熊本市218人)
となった。

ボランティアに記念Tシャツ

熊本市の 八代市センターへ寄贈



Tシャツを手にするアウトリーチプロジ
エクト代表理事の宮下武さん(右)と八
代市災害ボランティアセンター長の松本
博昭さん(左)28日、八代市

た。ボランティアの記念にしてほし
い」と話した。今後も続けるという。
ボランティア参加者にはセンター
が作業終了後に渡す。センター長の
松本博昭さん(52)は「参加したこと
が形として残り、喜ばれている。あ
りがたいですね」と歓迎した。

(木村彰宏)

聴覚障害者の
災害避難協定
県ろう者福祉協会
防災士会県支部と
協定は、各地域で聴
覚障害者と防災士が交
流して知り合い、災害
時、すぐに駆け付けら
れる態勢を築くことが
柱。両方で災害時に必
要な福祉支援策を行政
に提言していく。

県ろう者福祉協会
(福島哲美理事長)と
日本防災士会県支部
(宮下正一支部長)は
29日、災害時における
聴覚障害者の避難や福
祉支援に関する協定を
結んだ。県支部が障害
者団体と協定を締結
するのは初めてとい
う。

4年前の熊本地震
で、同協会の松永明常
務理事(82)が益城町で
聴覚障害者を支援した
時、現地の防災士が協
力したのがきっかけ。
(堀江利雅)

し、2店とも休業して
いる。
市はビルボードにつ
いて、クラスター「感
染者集団」が発生した
と説明。8月中旬から
下旬に2店を利用した
人に、新型コロナ相談
センターへ連絡するよ
う呼び掛けた。

た中央区の20代女子
学生が、スマートフォン
の「接触確認アプ
リ」への通知で検査
を受けたことも分かっ
た。
30日午前10時時点の
院患者は前日と同じ
7人(中等症16、軽症
45、無症状9)。病床
稼働率も変わらず17・

1286
5
23
148
53
5
4

1
3
4
1
6
3
60

3
7
1
1
11
27

1
人
13
599
14

仮設トイレ

【八代市】市坂本支所 6基▽坂本地
域福祉センター 5基▽J R 鎌瀬駅付
近 2基▽葉木橋付近 1基▽坂本公民
館 2基▽中津道消防団車庫 2基▽川
岳保育園付近 2基▽藤本社会教育セ

基▽船津商店付近 1基▽中津道社会
教育センター 1基▽下代瀬消防団ボ
ンプ格納庫前 1基▽民宿和嶋荘 1基
▽宮崎建設横 1基▽生名子公民館 1
基▽上荒瀬乗り合いタクシー乗り場
付近 2基▽板木・保口地区集会所 2
基
【人吉市】人吉駅前広場 4基▽鍛冶
屋町公園 4基▽青井交差点 6基▽ダ
イレックス 3基▽大柿地区 6基▽小
柿地区 1基▽あゆの里第4駐車場 3

時▽元湯温泉 16~20時(工事のため男湯の受け入れ不可)▽季の杜石
庭 11~17時▽華まき温泉 10~22
時▽幸福温泉 11~21時▽相良路の
湯おおが温泉 12~17時▽堤温泉
10~16時▽三浦屋温泉ビジネスホテ
ル 13~22時
【水俣市】湯の児温泉・夕日の宿
11~16時。火曜休み
【芦北町】御立岬温泉センター 10
~21時。第2、4水曜休み▽大野温